

市役所庁舎の建て替え場所選定 いよいよ最終局面を迎えています

耐震性が安全基準を満たしていないため、市役所庁舎の建て替えを進めなければなりません。そして、候補地として、①現地で建て替え、②松戸駅東口イトーヨーカドー裏手の相模台地区への移転、という2案が検討されています。去る5月に行われた臨時議会に、市は、相模台地区に移転するための用地取得費を議案として上程しました。しかし、議会からは、現地建て替えを望む声上がり、また、相模台への移転計画に不安を唱える議員もいて、採決の結果、賛成13票、反対30票で相模台地区の用地取得案は否決されました。

この結果を受けて、現地建て替えが進むものと思われましたが、なんと、市は来る12月議会に改めて相模台

の土地取得議案を上程する模様です。現地建て替えを望む議会決議を無視するかのような市の振る舞いには、議会軽視の姿勢がうかがえます。そしてそれは、市民不在の行政の様相を呈しているとも感じられることから、動議案には木々しい視点で臨みます。



相模台地区への移転で大丈夫？ 庁舎建設における不安が満載

議会が、相模台地区への移転を否決した理由として、最も大きいものは「安全性の確保」への不安です。国から買い取る予定の土地の面積は、およそ8,500㎡です。しかし、崖に面する同地は、県の条例などに従うと、建物を建てられるのはその内約5,230㎡です。それだけの面積に、本当に市庁舎の建設が可能なのでしょうか。市はここに、総床面積3万7,000㎡の庁舎を建築するとしています。一方、市川市や川口市など、近年、市庁舎を建て替えた人口50万人程度の自治体では、平均4万2,000㎡の庁舎を建設しています。狭い庁舎が、住民サービスの低下や機能不全を来さないか、不安は払しょくできません。

さらに、レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）とイエローゾーン（土砂災害警戒区域）に指定されていることから、災害時の避難場所として機能するかどうか心配です。市には不安を解消できる説明を求めます。



HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生まれ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
昭和58年 青山学院 中等部 卒業
昭和61年 青山学院 高等部 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部